

整理番号	19-52	事務事業名	(障がいサービス事業) 精神障がい者と家族の学習会	作成部署	保健福祉部福祉課	電話	内線810
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 上村弘志	課長職名	小西洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和50年	根拠法令等	精神保健福祉法				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	精神障がい者家族会結成のために、家族の事前学習が必要なため、事業を開始。						

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	健康と医療	(第1節)
	施策	保健予防の推進	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	患者(精神障がい者)、家族、関心を持っている市民	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	病気に対する理解を深め、適切な療養生活を送ることができるようにする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	病気や薬についての講演会、近年整備されてきた新しい精神障がい者関連施設の見学など。
		17年度	学習会を年1回開催する。

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	10	10
	合計	0	0	10	10
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +	90	90	100	100	

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	事業実施回数	1回(施設見学)	1回(施設見学)	1回	1回
	参加者数	32人	26人	40人	40人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加者数(代替指標)	32人	26人	40人	40人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者一人あたりのコスト	2,800円	3,400円	2,500円	2,500円
	(総事業費 ÷ 参加者数)				

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等 平成14年度に精神保健福祉事務の一部が市町村に委譲され、精神障がい者や家族への知識啓発普及について市町村の役割が増大している。また、平成18年施行予定の障害者自立支援法により、地域で自立した生活を送るためには患者や家族自身の療養管理が重要となることから、病気や社会資源についての知識普及が必要である。

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	患者・家族が何を知りたいか、ニーズの把握なども含めて、市が実施することが妥当。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	病気に対する理解を深め、適切な療養生活を送るために必要な知識を得ることができ、適切な事業である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	同上	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	患者、家族に対し、正しい知識普及を行うことは市町村の責務であるので、受益者負担はなじまない。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	病気に対する理解を深め、適切な療養生活を送るために必要な知識を得るという成果が上がっているが、個々の病気の種類、病状に該当しない場合もあり十分とは言いがたい。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	一度に多数の人が必要な知識を得ることができるので十分効率的である。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	精神の病気や障がいについて患者、家族が十分に理解するために必要であり、今後も現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり